

[ドウシ・テ]

道志 手帖

Summer 2016 no.12



gallery * 山椒の実のしょうゆ漬け

木の芽を楽しんだあとは青い実の番です。さっと茹でて、塩漬けにしてもよし、しょうゆ漬けにしてもよし。かじると、ピリリと爽やかな風味が広がります。

Contents



表紙写真

撮影：香西恵（2016.6.8）

協力隊の集合写真を撮影

した岩瀬の畑にて。

What's
"Doshi-techo"?

「道志手帖」とは？

略して「ドウシテ」。「どうしてどんどころ？」という関心から生まれた、道志村地域おこし協力隊を中心とした有志による冊子です。村で生活していて気になったこと、おもしろいなおもったこと、発見や驚きを、年4回報告していきます。2016年度からは新しい書き手による誌面をお届けします。書き手は常時募集しています。どなたでもお気軽にお問い合わせください。

道志村地域おこし協力隊はブログで日々の活動を報告しています。ぜひご覧ください。 doshi-okoshi.com



[特集]

第二期 道志村地域おこし協力隊

道志村と私 そしてこれから 抱井昌史 …6

世界中を巡り、道志村に辿り着きました。 七瀧佳至 …8

夢の実現 鳥澤拓太 …10

[連載]

月夜野絵地図 千々輪岳史 …12

協力隊だより① …14

[新連載]

手造り遊び用具①三輪車 仲井義晶 …15

お顔拝見①水越三弘さん 仲井義晶 …16

みなもと体験館イベント参加①さとうの日 佐藤八重子 …16

〔特集〕

第二期

道志村

地域おこし

協力隊

道志村では2013年から「地域おこし協力隊」が活動しています。2016年4月、3名の新しい隊員がやってきました。

「どうして道志に?」

「道志で何をしていくの?」

……

今回の特集では、第二期道志村地域おこし協力隊を紹介します。



隊員プロフィール

かかいまさし
抱井昌史

育ったところ：東京都国分寺市
年齢：35歳 住んでいるところ：神地
道志の好きなおところ：人



ななたきけいし
七瀧佳至

育ったところ：京都府京都市
年齢：30歳 住んでいるところ：西和出村
道志の好きなおところ：山水人



とりさわこうた
鳥澤拓太

育ったところ：神奈川県横浜市青葉区
年齢：28歳 住んでいるところ：西和出村
道志の好きなおところ：豊富な沢



地域おこし協力隊とは？

「地域おこし協力隊」とは、総務省が2009年からおこなっている事業です。豊かな自然や歴史、伝統や文化に恵まれた地域で生活し、地域の発展に貢献したいという都会の人たちのニーズを背景に、人口減少や高齢化が著しい地方に人材を積極的に派遣し、その定住・定着を図ろうとする制度です。

道志村と私 そしてこれから

——抱井昌史



道志村との出会い

道志村との出会いは、道志村に来る前に住んでいた神奈川県で行われていた「かながわ森林塾」でした。

平成23年東日本の震災後に、東北のボランティアから帰省後、それまで行ってきた事に物足りなさを感じ、農業や林業などの生産活動に魅力を感じた私は、平成25年から、小田原市で小さな畑を借りて、自分で食べ物を作る事を始めました。

東北に一年半余りいた私にとって、多くの日常が突然壊れてしまった土地から、一時的な不自由はあっても、時間を経て日常を取り戻している場所へのタイムスリップは、多少の落差を感じるものでもありました。それまで、特別な感情を持たなくても出来た事が、難しく感じたり、震災の前後で心境の変化を感じました。そんな中で取り組みやすく出来る事が、農業や林業だったと感じています。

初めての畑では「ごぼう」「にんじん」「小松菜」「オクラ」「さつまいも」「大豆」「レタス」などを育てました。レタスなどは、あの小さな種からよく大きくなるものだと感じました。あまりうまく育たないものもありま



ミツバチがびっしりついています。大体一枚裏表で2000匹位。働き蜂が忙しく働いています



養蜂箱を置いている隣の場所に、蜜源となるシロツメクサ、コスモス、ひまわりなどを植えるため草刈りをしました

したが、収穫したものには力を感じ、食べる都度、生きているものを食べる事の有り難みを感じました。

平成27年度からは、神奈川県林業後継者を育成するための塾、「かながわ森林塾」に参加し、刈払機の操作や、チェーンソウの講習を受け、その後半年間に渡り、林業の研修を受けました。夏の下草刈りや除伐作業は、大変な作業だと思いました。

森林塾では、作業ごとに様々な林業事業者が講師となって、作業を指導していただくのですが、その中に道志村の会社も二社あり、親切に指導していただきました。道志村の方々の人柄にも引かれ、以前からドライブなどで訪れていた、「道志村」で生活していく事に魅力を感じ始めました。

道志村に来る直接のきっかけは、林業という事になるかもしれませんが、道志村では農業や林業、養蜂など様々な事に興味を持っていききたいと思います。

今取り組んでいる事

道志村地域おこし協力隊として、約2ヶ月が経ちました。突然ですが、4月末にミツバ

チを飼い始めました。

養蜂に昔から興味が特別あったという訳ではないのですが、道志村に来てくれた人に対する「おもてなし」の一つとして、また、キャラクターとして養蜂というのがあって、いいのかなどの思いもあって、養蜂にチャレンジする事にしました。また、養蜂には「花」が必要なため、国道から見える花の景色を、一つの観光資源とする事も出来るのではないかと思います。

養蜂で用いられるミツバチは、基本的に西洋ミツバチが多いようです。道志村では、日本ミツバチを飼っていたという話を何回か聞きましたが、最近は数が減っているような事も伺います。

日本ミツバチは在来種で、蜂蜜の収量が多い西洋ミツバチが輸入されてからは、飼われる事が減ってしまったようです。しかし、西洋ミツバチより寒さに強く、天敵のスズメバチにも防衛力を持ち、病気にも強いという特徴があります。また、西洋ミツバチより穏やかで、人をさす事が少ないようです。そんな日本ミツバチを守る活動もしていきたいと考えています。

世界中を巡り、道志村に辿り着きました。

——七瀧佳至



どうも、4月から道志村にやってきました。知らない場所に行ったり、住んでみたりするのが好きな私は道志村に来る前は沖縄に二年程住んでいました。

20代の半分くらいはそんな風に海外を旅してまわったり、気に入った所にしばらく滞在したりと自由奔放な生活を送っていました。

そんな生活の中で、自分はどういう環境で暮らしていきたいのか、また自分の子供をどういう環境で育てていきたいのかをよく考えるようになり、自分が幼い頃に山や田んぼで遊んでいた様に、自分の子供にも自然と近い場所で育ってほしいと思い道志村への移住を決意しました。

これからの活動

今期の道志村地域おこし協力隊の大きな活動目標として挙げられているのは「農業の6次産業化」です。簡単な事ではないと思いますが、道志村のイメージの良さを使った商品開発や販路拡大の可能性を見出していきたいと思います。

全国各地で地域おこしとして6次産業化が叫ばれている中で成功している場所が少ない



のも事実です。もちろん特産品を使った商品開発も重要だと思えますが商品を提供するだけではなく、その商品のストーリーをお客さんに体感してもらえようような6次産業化を目指していきたいです。

例えば、特産品として醤油を提供するだけではなくて、大豆を栽培、収穫するところからお客さんに参加してもらおう。そして、道志村の伝統的な醤油絞りをしてお客さん自身に6次産業化を体験してもらおう、といった形です。

道志村では当たり前に行われていた事でも村外から見ると魅力的な事はたくさんあると感じます。そういった事を村外に発信していきたい、また気軽に体験できるように施設やシステム作りをやっていけたらと考えています。

もともと自分が旅行やキャンプが好きなので、かねてから宿泊施設を運営したいという気持ちがありました。道志村に来てからは一層その気持ちが強くなっています。キャンプ遊びの一つとして百姓体験ができるような宿泊施設と農園が融合した新たな施設を作るのがこれからの大きな目標です。

夢の実現——鳥澤拓太



特集



道志村の山を登ると山頂から綺麗な富士山が現れました！



初めて操作をさせてもらったトラクター。マニュアル操作でクラッチもあるとは予想外でした。慣れてくると楽しくトラクターを扱えるようになりました

生まれは神奈川県横浜市青葉区で、道志村に引っ越しをして人生で初めての一人暮らしを道志村で日々満喫しております。

どうして道志村に？

私は昨年の7月まで約6年間東京と神奈川県で鉄道会社の駅係員の仕事を勤めておりました。こちらに移住しようとした理由は、どうしても都会での駅係員の仕事が好きにはなれず、また父の田舎が秋田で都会ではなく、農村、自然があり、幼い頃からお盆に遊びに行っては、川で泳いだり、魚釣りなど、自然とふれ合うことが大好きな子供でした。

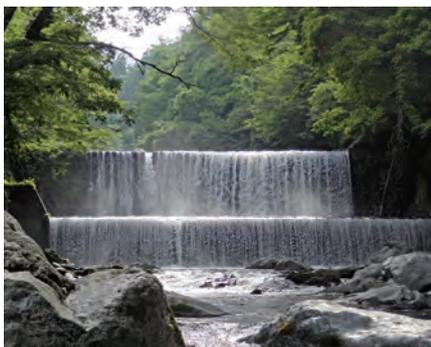
仕事を退職する2カ月前に、ふと道志村を訪れてみたいと思いつき、訪れたところ、道志村の沢、山、静けさに感動し、「ここに住みたい！」と強く思い、早速こちらでの住居を探しましたが、なかなか見つからず、結局昨年7月に退職したものの、その直後に、母が病気で倒れ、なくなり夢を諦め、実家の事、つまり母が専業主婦としてやってきた事を自分が引き受け、家族を支える事に努めました。母の具合もだいぶ回復してきた冬頃、久々に道志村のホームページを見たところ、今年度の地域おこし協力隊の募集がある事を幸い

にも偶然に知り、応募したところ、幸運にも採用して頂きました。

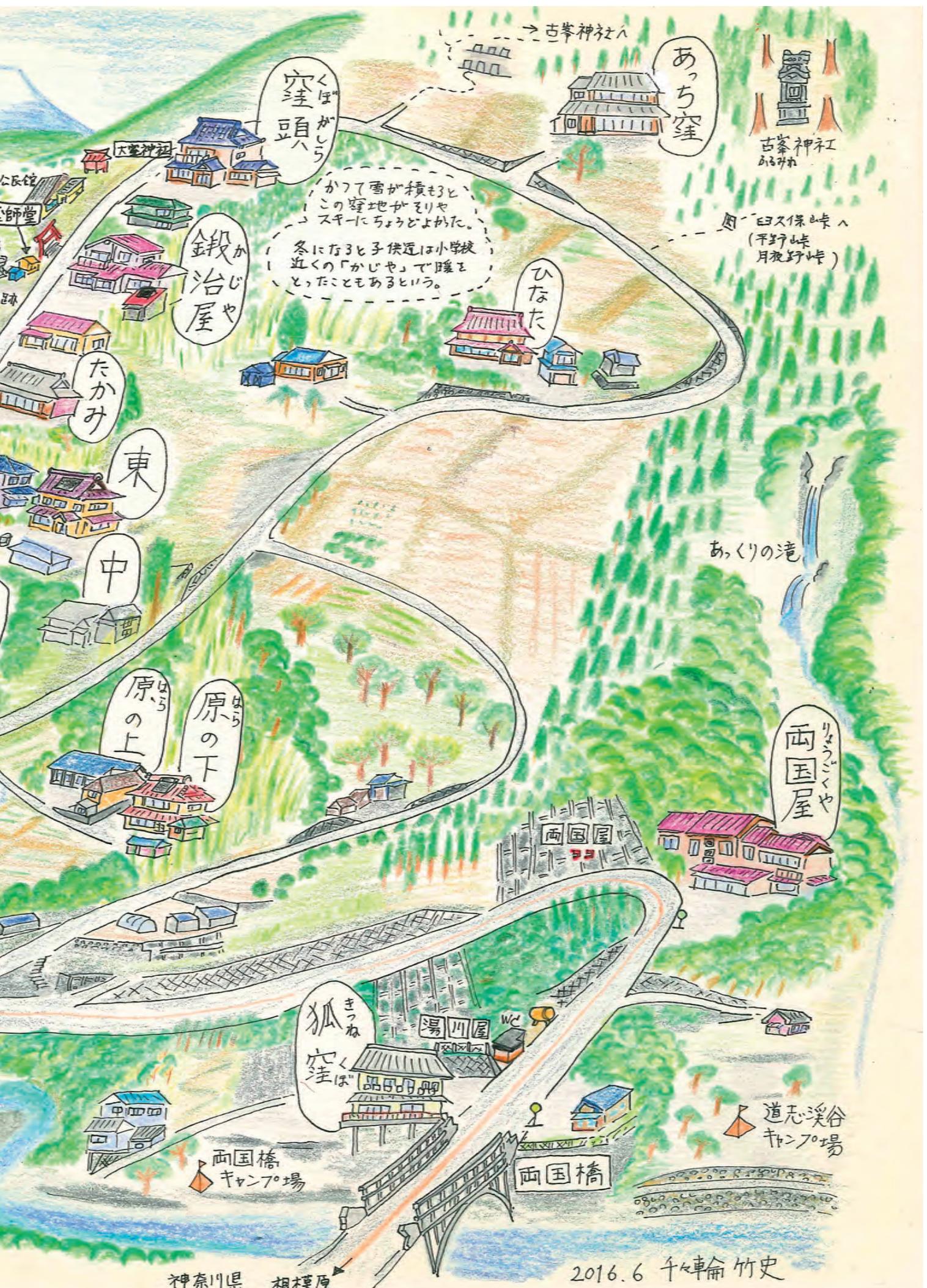
道志村に住んでみて体験した事、感じた事

朝の5時頃に家のすぐ裏でウグイスが「ホーホケキョ！」と元気よく毎日鳴くので、早朝にウグイスに起こされて寝不足になってしまい、耳栓をしてから寝るようになりました。今は耳栓のお陰でウグイスに起こされる事無くしつかりと寝る事が出来ています。

道志村はすごく綺麗な沢が豊富にあるので、沢沿いを散歩したり沢を眺めていると、とてもリラックスでき、心身の疲れが取れます。綺麗な沢が間近で豊富にある道志村に住んで本当に幸せです。



協力隊OBの中嶋さんから教えていただいた滝からの飛び込みスポット。夏になったら沢山飛び込みしたい！



→ 古峯神社へ

あち窪



古峯神社
明神

穴達頭
くほがしら
豆ハ

かつて雪が積もるとこの窪地がそりやスキーにちょうどよかった。冬になると子供達は小学校近くの「がじゃ」で睡をとったこともあるという。

図 白ス保峠へ
(平野峠 月夜野峠)

ひなた

鍛冶屋
かじや

たかみ

東

中

原の上
はらのうへ

原の下
はらのした

西国屋
さいごくや

あくりの滝

狐窪
きつねくぼ

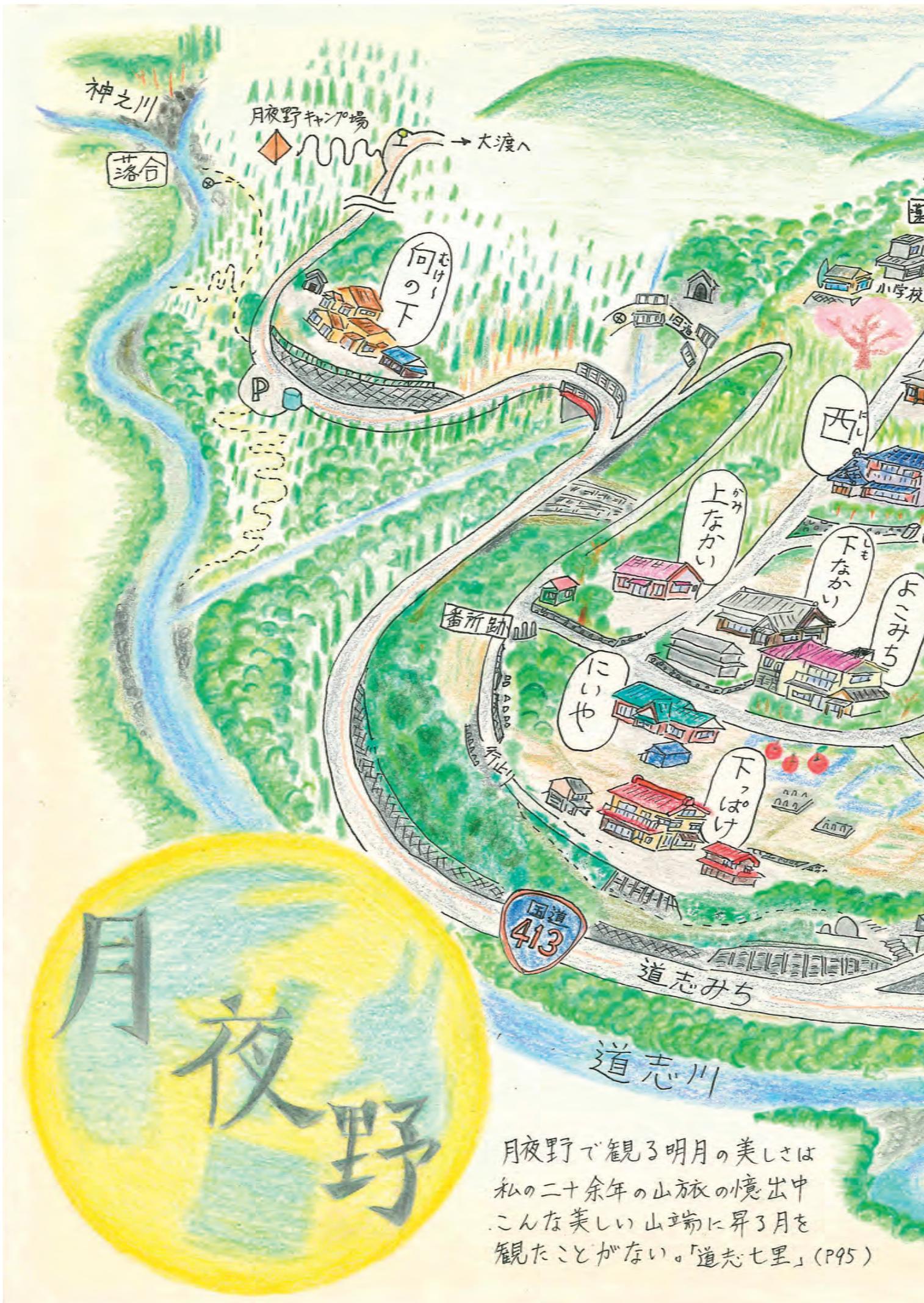
湯川屋
ゆがわや

WC

道志溪谷
キャンプ場

西国橋
キャンプ場

西国橋



神之川

合落

月夜野キャンプ場

大渡へ

むけの
向の下

小学校

西

かみ
上なか

しも
下なか

よこみち

にい
や

下
ほけ

番所跡

国道
413

道志みち

道志川

月夜野

月夜野で観る明月の美しさは
私の二十余年の山旅の憶出中
こんな美しい山端に昇る月を
観たことがない。「道志七里」(P95)

一年目の春

4月の末からミツバチを飼いはじめましたが、それと同時にひまわりやコスモス、シロツメクサ、からしなの種を蒔きました。5月16日に蒔きましたので、夏に咲いてくれるといいなと思っています。

ミツバチにとって夏場、あまり花のなくなる時期があるようで、どの季節にも花が咲いているようにしていければと思います。また、お借りした畑には富士なすやオクラ、キュウリ、ピーマンなどを植えました。

5月23日には、商工会女性部の和出村の花壇で、花の植え替えをしました。「ビオラ」が「ガザニア」という花に変わりました。初めてのお花らしく、秋までの長い間、花を楽しめるようです。自動

車で通り過ぎるとあつという間ですが、人の手で植え替えると丸一日の作業で、女性部の方のマルチ張りの作業の手際の良さには、驚嘆の念を禁じ得ません。皆さん汗だくで作業をされていました。(抱井昌史)



協力隊でお借りしている畑に植えた茄子（富士なす）です。元気に育ってくれる事を願います

道志村に来て2カ月が経ちました

手探りながらも畑を借りて、草

を刈り、土を耕し、夏野菜の種や苗を植えています。

畑作業をしていると地域の方から話しかけて下さる事が多く、色々知らない事を教えて頂けるので有り難く感じています。

畑の事も子育ての事も分からない事だらけなので何かと教えていただけるのと幸いです。

これからの季節は道志村にも人が増え、賑やかになっていくのだろうと楽しみにしています。

まだまだ力不足ですが道志村をもっと人が集まる楽しい場所に出来たらと色々と考えていますのでよろしくお願いします。(七瀬佳至)

ぬか漬けを作りたい

4月から道志村の地域おこし協力隊になり、村の行事やイベント

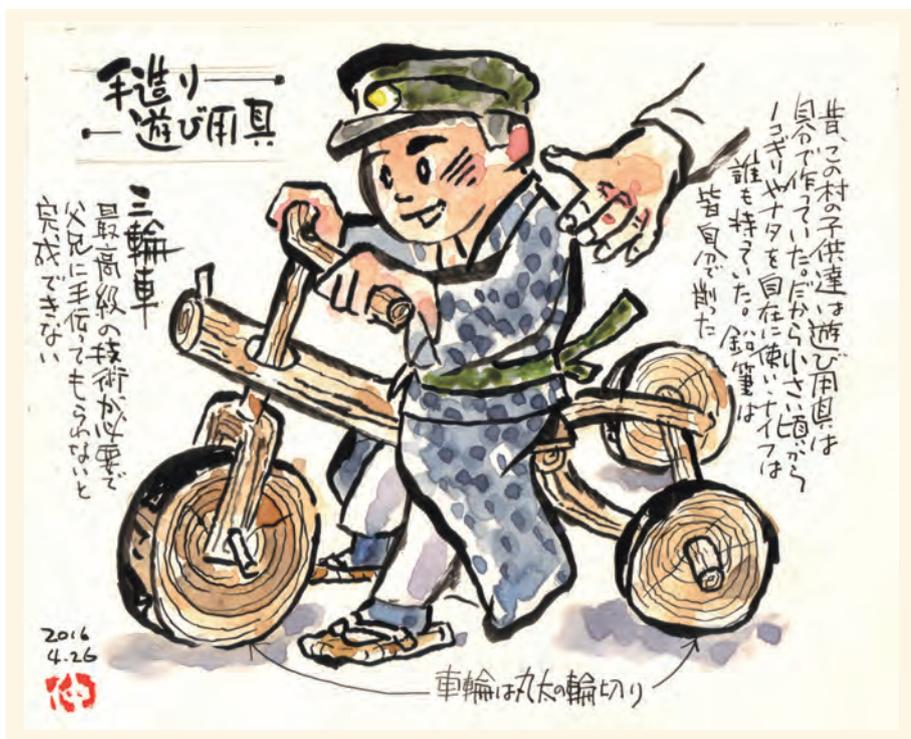


(左) 道志村に来て初めてぬか漬けを作りました。雰囲気と見た目はいい感じですが。(右) 初めてのぬか漬け作りはほろ苦いデビューでした。見た目は綺麗で美味しそうですが、しょっぱくて酸味もないしかなり不味かったです

に色々と参加をさせていただいております。

6月に入り、道志村に来てチャレンジしたかったぬか漬け作りを始めることになりました。

一夜漬けなど色々な種類の漬物がある中でぬか漬けを選んだ理由



は、ぬか漬けは一夜漬けなどとは違い、乳酸菌や酵母菌の力を利用して漬ける発酵食品で、菌の力を利用して作る場所に興味と関心があつたのと、ぬか漬け特有の酸味が効いた漬物が好きで自分で作ってみたいと思つたからです。

まずはぬか漬け作りの第一歩として、インターネット、ぬか漬けの参考書などで情報を収集し、ぬかキットを購入し、きゅうりを漬けてみました。1回目は漬ける際に塩でもんでから漬けたのですが、しょっぱくて酸味もなく美味しくなかったので、2回目は塩でもまずずに漬けてみました。1回目よりは美味しくできましたが、自分の求めているぬか漬けの味とは程遠い味でした。これからは試行錯誤を繰り返して、美味しいぬか漬けを作れるように日々追求していきます。(鳥澤拓太)

道志に来てくれる人を増やすには？

人口約1800人の道志村に、約

1000人のランナーが訪れるトレイルレースに続き、道志の森キャンプ場で5月21・22日に開催された「Natural High」には約800人の来場者がありました。いずれのイベントでも、参加された方々からは「新緑がきれいだった」「この時期の道志村は本当に気持ちよい」との声がきかれ、道志村の新緑が都会の人の心にとれほどの癒しを与えているか、改めて感じました。

今年で11回目となるNatural Highの来場者の多くは、自然と音楽が好きで都会からくる人で、家族連れも多く見られました。

今後、来村者ばかりでなく、村民も参加しやすい形になればいいのでは、横浜市民割引があれば横浜の水源地の周知につながるのでは、とこのイベントに係る中で考えました。

交通の便が決して良いとは言えない道志村に足を運んでくれる人がいる。そのことをもつと活かして

て考え、良いアイデアと多くの村民の協力を得られれば、「交流人口」も増え、その中に道志村に思いを寄せる人が増え、村はさらに元気になるのではないでしょうか。(千々輪岳史)

編集後記 今年3月で一期の協力隊の3人が任期を終え、協力隊でつくってきた『道志手帖』も区切りを迎えました。4月からは二期の隊員と有志が集まり、再スタートです。今号から新たに執筆してくださったのは、佐藤八重子さん(16頁)と仲井義晶さん(15・16頁)です。いろいろなたが、それぞれの方法で、道志にまつわることの記録・共有・発信をできる場にしていければと思います。／今年度から有償のお知らせをしておりますが、協力隊の事業として継続し、今まで通り配布をさせて頂くことになりました。購読のお申し込みをくださった皆様、ありがとうございました。新しい『道志手帖』をどうぞよろしくお願ひします。(香西)

お顔拝見

道志村歯科診療所勤務 水越 三弘さん



みなもと体験館イベント参加 ドキドキワクワク体験コーナー ①

憧れのスローフード体験、木工体験。道志村に移住してきた私にとって、みなもと体験館でのイベントは毎回未知の事दै
いっぱい！ 私のドキドキ、ワクワクをこのコーナーで紹介します。

「さとうの日」

みなもと体験館では、3月10日「さとうの日」に道志村の佐藤さん率日本一を記念した特別企画が開催された。山梨日日新聞に掲載されていた特別企画の記事を読み、昨年から道志村に移住した私共夫婦、「佐藤」も申し込み、参加。

都留市からは若き佐藤青年がこの日に合わせ、仕事の休みをとって駆け付けてくれた。何でも職場の方が山梨日日新聞の記事を読んで、「参加してみたら?!」と声をかけてくれたとのこと。

午前は昼食を兼ねたほうとう作り、餅つき。午後はこの日の為、特別に作製された「佐藤の姓の焼きごて」で小さな表札やキーホルダーを皆、思い思いに作り、子供の頃の佐藤さんに戻ったごとく、夢中になり楽しんだ。沖縄の「さとうきび」も頂戴し、「さとうの日」の特別企画には脱帽!!



もう一つの日本一は企画を作られた方達の温かい真心と確信。都留市から参加した佐藤青年もその真心を感じたのだろう。「また、是非参加したい!」と来年の予約をして帰路へ。再会が楽しみ!

今もその時作成したキーホルダー(写真)を愛用している。(佐藤八重子)

